

# 航空機の都心低空飛行反対 江戸川ニュース

No.3 2016.9.18

航空機の都心低空飛行に反対する  
江戸川区民の会

代表 肥後 義弘 (03- - )

事務局 太田 美音 (03-5605-0586)

E-mail ; mine-ota1004@mbr.nifty.com

## 国交省新ルート推進決定 来年度予算措置

国交省は7月28日、「第4回首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会」を開催、関係自治体が「羽田空港機能強化に必要な施設整備に係る工事費、環境対策費を国が予算措置することを理解した。」「国と関係自治体は引き続き協力して...環境影響等に配慮しつつ、2020年までに羽田空港の年約3.9万回の空港処理能力拡大の実現に取り組む。」と発表しました。これは、事実上の新ルート推進決定です。

(詳細な内容は下記国交省HPを参照。)

[http://www.mlit.go.jp/koku/koku\\_tk7\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk7_000005.html)

### 8/1 区環境推進課からの説明

江戸川区民の会は8月1日、区の担当者と話し合いの場を持ちました。以下、主な内容をご紹介します。以下は岩瀬参事。

Q 今回の新ルート案では区上空飛行数はどうなると判断しているか、騒音は低減されるか、増加となるのか？

南風時は15~20%減る。北風時はフルに飛ぶと計算して、江戸川空域飛来数は4万機以上。騒音は、北風時はまるまる増加。騒音レベルは飛行機にもよる。できるだけ、騒音の少ない小型機を要望する。また、フルに飛ぶか否かは不明。

Q 騒音低減に向けた対策の取り組みは？

国は南風時の北の高度を上げる、北風時の飛行時間を後ろ倒しにする、騒音の少ない機種誘導を図るような料金体系の導入、騒音防止法の運用を弾力化し防音工事助成などの方策を出している。

Q 「首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会」には都副知事と特別区長会の会長が

### 区議会への「陳情」について

“羽田空港の増便計画による「航空機の都心低空飛行ルート案」撤回を国、都へ働きかけるよう求める陳情”は区議会生活振興環境委員会で継続審議中です。

陳情署名(9/6現在): 3,680筆

生活振興環境委員会

<8月1日>

大橋委員(共産党) 伊藤委員(生活者ネット)が質問、意見、資料請求

<9月6日> 同上(以下、主な内容)

- ・ 国主催の協議会と都主催関係市区連絡会の内容と位置づけ
- ・ 7/28に国が出した対策・方策
- ・ 離陸便が江戸川区上空を低空飛行した件について

次回委員会は10/19(水)10:00~  
傍聴しましょう!

構成員となっているが、都心低空飛行に関して、了承したのか？

各区が聞かれて了承したのではなく、23区全体、間接的に了承した形。区長会を代表して荒川区長が、都副知事が関係市区を代表して参加。機能強化の必要性を認めている。

Q 住民に対し、対応策についての説明会を行うよう、国に要請してもらいたいですが、どうか？

もちろん要望する。他区も要望している。

Q 委員会で離陸便は2.6キロから3.2キロぐらいの横幅があると回答されている。荒川の川幅はどのくらいか？

650メートル。

Q それなら、荒川上空を飛ぶといっても、江戸川区や江東区にそれるのは明らか。また、現在の騒音状況から、品川方面での低空飛行の状況は想像できるのではないか？

陸域は飛ばない、海上を飛ばす、という文書は見当たらない。増便は今回の案が Max で、これ以上増えることはないと聞いている。

Q 現行ルートで増便できる限界はどこか、具体的な検証をすべき。季節によっても便の増減があるのでは？また、清新町は高層階もあり、空港至近と変わらないのではないかと？

増便シミュレーションを相当やってこの案になっている。騒音影響を都が測るので、そこで展開があるだろう。測定局を増やす話もあるので、どこに置かかなど細かい話はこれからしていく。

Q 飛び始めてから具体的な問題があれば、便数を減らすとかルート変更など求める気概はあるのか？

今でも、なんでこんなに増えているのかとたいぶ言っている。今後も皆さんの声は都や国に伝えていく。

Q 首都圏の機能強化なら、羽田だけでなく、成田や他の空港の利用を考えるべきでは？

交通利便性などの理由により羽田となった。将来、成田も拡張すると聞いている。

## 離陸便が都心や江戸川区、江東区上空を低空飛行

今年 8 月に入り、離陸機が都心や江戸川区、江東区上空を低空飛行するのが目撃されています。8 月 2 日、16 日、20 日、24 日、29 日、9 月にも 4 日、7 日、9 日、11 日と、かなり頻繁です。例をあげると・・・

### < 8 月 16 日 江戸川区上空を縦断 >

「羽田空港飛行コースホームページ」で確認すると、16 日の 17:55 頃に羽田空港 C 滑走路から飛び立った便が、すぐに江戸川区上空を北上しています。(通常は、海上を浦安沖まで飛び、高度を上げてから陸上を航行)

この例について、肥後代表が何故飛行したのか、国と江戸川区に事実調査と理由確認依頼をしました。

- ・ 国交省の川口事務官は「調査して後日文書で回答する」、後日電話で飛行機はエア・カナダ B-77 機と回答。

- ・ 江戸川区の環境推進課係長渡辺氏は「国交省に質問中。当時の天候は快晴で、台風・雷・積乱雲情報もなかった。」

- ・ 9/6 岩瀬参事の回答は「天候上の理由でパイロットからの要請による。清新町の計器測定結果、騒音は 72dB」

現行の南風着陸便高度 600 ㍎の騒音数値とあまり変わらない騒音です。

### < 8/24 江東区、江戸川区上空を荒川沿いに北上 >

24 日は、13 時過ぎに飛び立った 3 機のうち 1 機が中央区上空を、2 機が荒川沿いに江東区と江戸川区の上空を北上。この例は、実質的な新ルートの試験飛行ではないかと疑ってしまいます。

「江東区上空の飛行計画撤回を求める会」の藤原さんが、国(東京空港事務所の環境・地域振興課)に問い合わせた結果は、次のとおりです。

- ・ 試験的に飛ばしているということはない。
- ・ 飛行理由は、天候により、機長のリクエストに管制官が許可
- ・ 「直前・直後の航空機は通常ルートで飛行しているのに、なぜ 1 機あるいは 2 機だけがリクエストしたのか」という問には、「航空機によって高度が違うため、その航空機が上昇する高さに雷雲等がある場合の可能性」と回答。
- ・ 「これまで低空では陸地上空を飛ばない約束があるのだから、機長のリクエストがあったとしても簡単に許可するのはおかしいのでは？」という問いに、相手は黙ったまま、回答はありませんでした。

### 今後もチェックをしていきましょう！

羽田増便による都心低空飛行計画に反対する

## 他区・東京連絡会等の動き

- ・ 8/9(火)7月28日の協議会の内容について国交省レク(対山添議員)に参加
- ・ 8/20(土)東京連絡会打ち合わせ:対都要請、学習、アピール行動などを予定
- ・ 8/25(木)「希望のまち東京をつくる会」主催都庁前アピール行動:羽田増便問題を訴え
- ・ 9/10(土)地域住民報告会(品川)